

磐梯町の「歴史的風致維持向上計画」が平成28年1月25日に国（文部科学大臣、農林水産大臣、国土交通大臣）の認定を受けました。本県では、白河市、国見町に続き3番目の認定となります。磐梯山の山麓に抱かれる磐梯町を訪れ、歴史文化に触れてみてはいかがでしょうか。

まちづくり
トップニュース

【磐梯町歴史的風致維持向上計画】が 国の認定を受けました！

■磐梯町歴史的風致維持向上計画の概要

慧日寺(えにちじ)の継承・復元活動や磐梯山を中核とする山岳信仰、赤枝(あかえだ)彼岸獅子舞等が形成する磐梯町の歴史的風致について、「大寺(おおてら)・本寺(もとでら)地区」を歴史的風致維持向上計画の重点区域として定め、国史跡「慧日寺跡」の整備・活用や歴史的まちなみの整備、伝統文化財継承事業等を推進していきます。(詳しくは磐梯町ホームページをご覧ください)

(http://www.town.bandai.fukushima.jp/t_navi/lg/2016/01/011_rekimachinintei.htm)



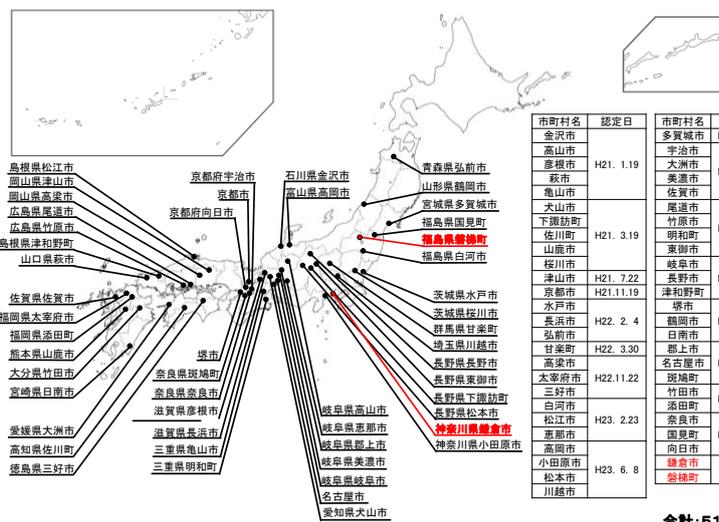
計画概要版



認定式

■歴史的風致維持向上計画の認定状況

今回の認定により、認定都市は全国で51都市となりました。



○歴史的風致維持向上計画とは
良好な市街地の環境（歴史的風致）を維持・向上させ、後世に継承するために、平成20年11月4日に施行された「歴史まちづくり法」に基づく計画です。(制度の詳細は国土交通省のホームページをご確認ください)

(<http://www.mlit.go.jp/toshi/rekimachi/index.html>)

「福島県における復興祈念公園」について

■復興祈念公園とは

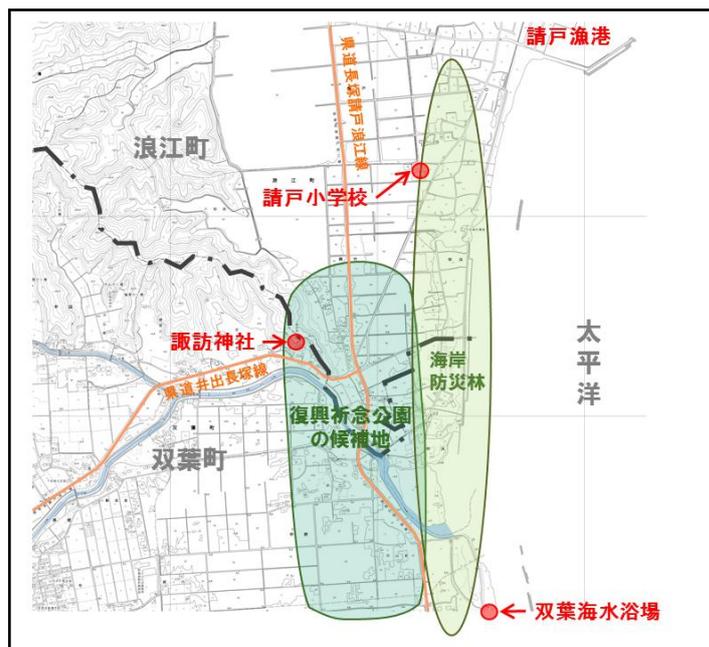
東日本大震災の犠牲者への①追悼・鎮魂、②震災の記憶と教訓の伝承、③復興への強い意志の発信等を目的に岩手県、宮城県、福島県の被災3県に1箇所ずつ、国と県が連携して整備するものです。

■福島県における復興祈念公園候補地

福島県では、津波被災地の復旧・復興事業が進むとともに、原子力被災市町村の避難指示解除の動きも出てきたことから、平成26年度より福島県における復興祈念公園の検討に着手し、平成27年4月に公園候補地を双葉・浪江両町にまたがるエリア（中野・両竹地区）に決定しました。（右図参照）

■復興祈念公園の検討

平成27年度は、地元の方々の意見を聴きながら、学識者や関係行政機関の代表者からなる有識者会議での議論を踏まえ、「福島県における復興祈念公園のあり方（基本構想への県提言）」をとりまとめる予定です。



福島県における復興祈念公園候補地
双葉・浪江両町にまたがるエリア（中野・両竹地区）

○現在までの有識者会議開催状況

- ・平成27年10月9日：第1回有識者会議
- ・平成27年12月7日：第2回有識者会議
- ・平成27年11月2日、17日：有識者会議現地調査及び住民意見発表会



第1回有識者会議



住民意見発表会

有識者会議の詳細は、福島県まちづくり推進課のホームページをご覧ください。

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41055b/hukkoukinenn.html>

芦ノ牧温泉ポケットパーク「かがやき公園」の 完成記念セレモニーが行われました！

平成27年11月18日（水）に芦ノ牧温泉ポケットパーク「かがやき公園」の完成記念セレモニーが行われました。「かがやき公園」は平成18年に完成したポケットパークをリニューアルしたものであり、地域住民の観光振興に向けた要望の声を受けて、県が平成26年11月に着工したものです。温泉街の眺望や24時間利用できる無料の足湯などを楽しむことができ、夜間はライトアップも行われます。

完成記念セレモニーには約40人が出席しました。



・セレモニーの様子

芦ノ牧温泉観光協会の星弘子会長の挨拶の後、杉明彦福島県土木部次長、鶴川大市観光課長、渋川恵男会津若松商工会議所副会頭が祝辞を述べました。公園名は約300点の公募の中から二本松市の渡辺源一さんの「かがやき公園」が選ばれ、神事がとり行われた後に、関係者による公園名を記した看板の除幕が行われました。



・かがやき公園

斜面を利用した公園は、地元住民の方が花植えをし、約300株が植えられています。季節毎に植え替える予定で、様々な風景を楽しむことができます。斜面の上に設置された源泉掛け流しの足湯からは、温泉街や山々の眺望を楽しむことができ、景色を堪能しながらゆっくりと足湯につかることができます。

・モニュメント

柴崎恭秀 会津大短期大学部教授がデザインした高さ約9メートルのらせん状のモニュメントは、上に伸びる意味が込められており、飯盛山の「さざえ堂」をモチーフとしています。また、照明デザイナー岩井達弥氏が夜間照明デザインを担当し、あんどんのような暖かみのある灯りが芦ノ牧温泉街の入り口をやさしく包み込みます。



足湯と眺望を楽しみに、芦ノ牧温泉を是非訪れてみて下さい！



北海道・東北ブロック都市再生整備計画研究会が開催されました

平成27年度北海道・東北ブロック都市再生整備計画研究会は、10月29日（木）～10月30日（金）に青森県八戸市で開催されました。

現地視察が行われた「アーツ・トワダまちづくり地区（青森県十和田市）」は、平成21年度から平成25年度において都市再生整備計画事業が行われており、テーマ「アートの感動を共有する賑わいの街とわだ ～人々が集い、暮らし、活動する中心市街地を目指す～」のもと、魅力的な市街地の形成、快適な空間・機能の集約を目標として整備されました。「十和田市現代美術館」を拠点とした、「現代アート」による新たな魅力を活用した中心市街地の活性化が特徴的です。同地区は平成22年に第5回まち交大賞【創意工夫大賞】を受賞しています。



〇アーツ・トワダまちづくり地区における主な事業

<p>現代美術館と商店街等が連携したアートプロジェクト</p>	<p>アートをコンセプトとしたストリートファニチャー整備</p>	<p>子育て支援、市民活動、アート展示等の機能を備えた市民交流プラザ整備</p>	<p>統一的なイメージにより整備された市街地歩行者サイン整備</p>

まちづくり情報交流協議会（まち交ネット）について

■まちづくり情報交流協議会とは

都市再生整備計画を活用して行うまちづくりについて、まちづくり情報交流システム（まち交ネット）や協議会ホームページを通じて情報・資料の収集・提供、意見交換、相談等を実施することにより、地域の創意工夫を活かしたまちづくりを促進することを目的としています。

まち交ネットには全国2,600箇所以上の活用地区の都市再生整備計画書を掲載しており、事業内容をフリーワードで検索することができるため、それぞれの地域にあわせた都市再生整備計画事業の参考とすることができます。また、協議会独自の講習会・勉強会が開催され、全国の最新事例や個性あるまちづくりについての情報収集が可能となるほか、国土交通省からの情報提供により、制度に関する最新情報やまちづくりに関するその他関連の施策情報を受け取ることができます。

まち交ネットの管理運営等を行う、一般財団法人都市みらい推進機構では、都市再生整備計画事業ハンドブックの発行も行っており、都市再生整備計画事業を進める上で大変参考となります。

詳細については、まちづくり情報交流システム（まち交ネット）のホームページをご覧ください。

まち交ネットホームページ

[\(http://www.machikou-net.org/\)](http://www.machikou-net.org/)



元気ふくしま、地域づくり・交流促進事業の紹介

県中建設事務所 郡山湖南町福良地区

郡山市湖南町福良地内には市指定史跡の「藩領境の大松」がありました。「藩領境の大松」とは、会津藩と二本松藩の領地境の目印とされていた樹齢約250年のアカマツで、樹高約15m、根回り3.5mありましたが、残念なことに平成21年12月の強風により主幹大枝が折れてからは年々樹勢も衰え、平成23年には終に枯死してしまいました。

貴重な史跡なので、暫くは切り株だけ残していましたが、道路の支障にもなっていたので、湖南地区の皆さんから「藩領境の大松を後世に伝えられるようなものが出来ないか」との提案があり、県中建設事務所との地域づくり懇談会で話し合いが行われてきました。

その結果、切り株は撤去して道路幅員を確保し、「藩領境の大松跡」として継承するためにポケットパークを整備することに決まり、工事は平成26年度から着手し、平成27年12月に完成しました。



在りし日の藩領境の大松



大松の切り株



(着工前)



(竣工)



目の前に広がる風景

ポケットパーク内には、「藩領境の大松」についての説明板や切り株のモニュメントが設置され、代替え松も植えられています。駐車場やベンチも整備もされ、目の前には写真のような美しい風景が広がりますので、ぜひ訪れてみてください。

土木部メールマガジン登録随時受付中!!!

土木部メールマガジンでは、土木部の取組みや情報を定期的に発信しています。最新号のメール配信を希望の方は、メルマガ登録をお願いします。

これまでに配信したメールマガジンについては、土木企画課のホームページ (<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41025a/doboku-mm.html>) からご覧いただけます。

メールマガジン(無料)の配信をご希望される方は

【土木部メルマガ希望または、解除】

をお書きのうえ下記アドレスまで

メール送信して下さい。

doboku_mailmagazine@pref.fukushima.lg.jp

土木企画課(システム担当) 024-521-7886



【まちづくり瓦版 発行元】
福島県土木部まちづくり推進課

TEL 024-521-7511

FAX 024-521-7956

e-mail machizukuri@pref.fukushima.lg.jp